



二輪草だより

2022年9月号
発行:二輪草センター

第8回「二輪草ベストサポーター賞」のお知らせ

二輪草センターでは子育てや介護をしながら仕事をしている職員の皆様に支援出来るよう、復職・子育て・介護支援等を行っています

これは、現場で日々サポートして下さる上司・同僚・後輩をはじめとした多くの皆様のご理解とご協力があることで、成り立っています

昨年度に引き続き、子育てや介護を支えてくださる現場の皆様を対象とした第8回『二輪草ベストサポーター賞』の募集を行います

現在サポートを受けている方、過去にサポートを受けた方、今サポートする側の方も日頃の感謝を込めて、あなたの周りの『ベストサポーター』をご推薦下さい

募集要項

対象 : 旭川医科大学で働く職員の上司・同僚・後輩など、現場において子育てや介護をサポートしている方(個人)

推薦方法 : 推薦用紙に必要事項、サポート状況をご記入頂きメールまたは二輪草センターまでご持参下さい
※推薦用紙はHPよりダウンロード可能

選出方法 : ご推薦頂いた方の中から、二輪草プラン推進委員会において選出致します(選出された場合、当センターのHP等に掲載されますことをご了承下さい)

受賞内容 : 賞状ならびに記念品の贈呈

受付期間 : **2022年9月27日(火)～10月25日(火)**
応募用紙はHPよりダウンロードできます

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

第7回 二輪草ベストサポーター賞 授賞式の様子



【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249
開設時間8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp
ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

今年度の第1回「地域を紡ぐ看看連携セミナー」を開催しました

職場適応支援担当看護師 平瀬 美恵子

2022年7月7日(木)七夕に今年度1回目となる「地域を紡ぐ看看連携セミナー」を開催しました。セミナー名を病院看護職と地域の看護職が連携することをよりイメージしやすいように、「かんかんセミナー」から「看看連携セミナー」に変更しています。

第1回は看護職キャリア支援センターと二輪草センターの共催事業として、終息が見えないコロナ禍での広大な北海道で看護職がつながる機会としてオンライン開催としています。

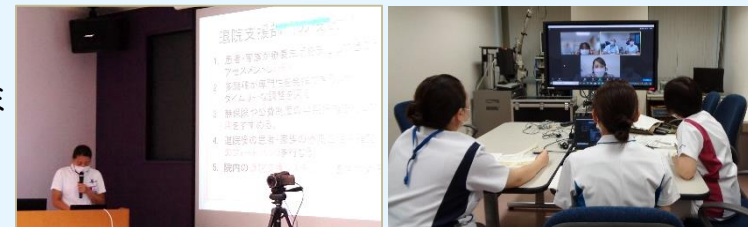
今回は、昨年度の参加者からの提供事例をもとに、当大学病院 地域医療連携室 佐藤温葉看護師を講師にミニレクチャー「希望する生活の実現に向けた準備」、グループワーク「医療依存度が高く、介護力に不安がある場合の在宅移行に向けて」という企画で実施しました。当大学病院看護職14名と、地域からは十勝やオホーツク地区、上川・留萌地区の訪問看護事業所、保健所の看護職21名の申込みがありましたが、当日急な業務調整から15名の参加となりました。

ミニレクチャーでは、当大学病院の「退院支援の3段階プロセス(第1段階 退院支援が必要な患者の把握、第2段階 生活の場に戻るためのチームアプローチ、第3段階 地域・社会資源との連携・調整)」について、患者・家族が退院後の生活をイメージする(できるようにする)ことが大切であり、医療上の課題や生活・介護上の課題を整理し退院時カンファレンスの実施など、事例から具体的にお話ししていただきました。

グループワークでは5グループに分かれ、大学病院の看護職と訪問看護事業所や保健所の看護職で「医療依存度が高く、介護力に不安がある場合在宅移行に向け、どのような準備と連携が必要か」を意見交換しました。コロナ禍で面会も制限され、家族は退院後の生活をイメージしづらい中、入院前と退院前のADLを含めた患者の変化などのギャップを埋める、患者・家族の疾患の受け止めを明確にする、患者・家族が退院後の望む生活を共有する、在宅に向け医療処置など家族の負担を少なくなるよう調整するなどが報告されました。他に、退院前カンファレンスに家族の参加希望や大学病院の看護師も退院し訪問看護を依頼した患者・家族の生活が気になるがどのように確認しても良いものかモヤモヤした気持ちを抱いていたことの発言があり、患者をケアする看護師は、病院・地域での場所は異なっても患者の思いを大切に尊重する気持ちは同じであることを再認識する機会となりました。

セミナー直後のアンケートでは、ミニレクチャーやグループワーク、セミナー全体の評価も満足・おおむね満足、セミナーの活用に関しても今後の業務や看護実践に活用できる・おおむね活用できると回答されていました。また、病院の方が訪問看護はどのようなものなのかということが少しわかってもらえ、連携しやすくなったのかと思う、他の訪問看護事業所も、大変な事例に対応しているとわかり勇気が持てた、とても有意義な時間になった、もっと意見交換したかった等のご意見を頂きました。

これからも病院・地域の垣根を超え、率直な意見交換を行い実践に活かせるようセミナーを企画・開催していきたいと思っております。看護と看護をつなぐ・連携する今後のセミナーにもぜひご参加ください。



病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【8月20日～9月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	15回	稼働回数	13回
病児・病後児保育室	依頼回数	9回	利用回数	9回
カウンセリング相談			利用回数	3回

* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます